

数学レポートの実践

新篠津高等養護学校 坂井健太郎

1 はじめに

- ・実践の目的：数学の学習まとめとして数学のレポートを作成すること
- ・実践の背景：問題演習中心の授業での生徒の興味関心、学習への理解度の把握が難しいと感じたため、別の授業方法を模索

2 実践方法

- ・使用した教材：タブレット端末(Keynoteアプリを使用)、自作ワークシート等
- ・実践手順
 - a. 数学レポートを例示する。
 - b. 個人でレポートを作成する。
 - c. 大型のモニターでそれぞれが作成したレポートを発表、共有して、感想を伝え合う。

3 結果

- ・生徒の反応：生徒が興味関心のある事柄と今までの数学の学習のまとめとしてのレポート作成のため、意欲的に取り組んでいた。また、次の学年生徒へ、年度末の授業のゴールとして、今回作成した数学レポートを提示することができた。現在担当学年の生徒も先輩方作成のレポートの問題に取り組む姿が見られた。

4 考察

- ・今後の課題：数学レポートが単発のものとなってしまうっており、そこで終わってしまうので、年間を通して、つながりや系統性のある活動にしていきたいと考えている。

5 まとめ

- ・実践を通して得られた知見：生徒がレポートを作成する中で、自ら数学の問題を作り、解く姿が見られた。また、生徒がそれぞれ悩みながらレポートを作成する姿が印象的であった。
- ・今後の展望：個人での数学レポートの作成であったので、グループでも対話を交えながらレポート課題を行い、生徒の数学に対する見方・考え方の幅を広げていきたいと考えている。